

# 第13回CRIESセミナー

## 地域創生・SDGsの本質

—『五感六育®』の実現—

2021年10月29日

東京農業大学教授・日本地域創生学会会長  
実践総合農学会理事 木村俊昭

# はじめに ー我が国の現状と問題点・課題、思考法ー

- \*先がみえない、実に変化が激しく、正解がない時代！
- \*答えがみえないなか、日々、意思決定や決断する必要あり！
- \*各業界における破壊が止まらない状況下、  
新型コロナ前後で、「地域創生・SDGsの本質」は何も変わらない！
- \*「五感六育®」の「立体的ストーリー化」=部分個別最適から全体最適へ  
「経路依存性」=結合し合っており、一部のみ変えることはできない！  
部分・個別ではなく、全体を変えないと、何も変わらない現実  
同質な人財や働き方、評価制度、新卒一括採用(終身雇用)、  
メンバーシップ型雇用を総合的に変革の必要性あり
- \*新型コロナ禍、今がチャンス到来と考えよう！  
①働き方改革、②評価制度の見直し(席にいるのみ⇒成果ベースへ変化)
- \*「イノベーションの本質」=既存の知と既存の知の新たな組み合わせ  
世界の地域を回り、既存の知を発見し、新たな組み合わせを創発！

# □本日、聴いて、ぜひ、実践行動してほしいこと

## (1)人間関係づくりとコミュニケーション

- ①自己分析、②自己理解、③他者理解、  
④相互理解、⑤相互共感へ ※組織理解

## (2)「地域創生・SDGs」人財の重要ポイント

- ①実学・現場重視、②全体最適思考、③民間参画(役割分担)

## (3)「地域創生・SDGs」人財の実践行動の3本柱

- ①リーダー・プロデューサー人財塾の開塾
- ②「五感六育®」ストーリー化(事業構想)と実現
- ③仕事の整理・仕事環境の改善(現場こそが最重要！)

※「五感六育®」は 木村造語

\*「六育」とは、知育・木育・食育・遊育・健育・職育のこと



# □人間関係構築の重要性

## (1)人間関係づくりとコミュニケーション(対話)

☆高校や大学・大学院では教えないことがあるもの

- ・チームワーク力 ・組織理解 ・履歴書の書き方
- ・マスメディア対応 ・悩みの解決法 ・熱いプレゼン
- ・コミュニケーション(対話) ・企画立案の仕方
- ・人間関係づくり etc

## (2)一度の人生、時間の生かし方

- ・10分前行動の重要性(ひとの時間を大切にせよ！)
- ・理念、目的・目標・使命の明確化 ・指標(ものさし)

(例)市民所得、製造等出荷額・付加価値額など

(参考)地域経済分析システム(RESAS)、農林業センサスなど

木村俊昭

できる化・見える化・しくみ化

# 地域創生

## 成功の方程式

木村の実学論は  
その1 五感六育が決め手! これだ!  
産業・歴史・文化の掘り起こし  
その2 期限は3年間!  
(3ヶ月×6ヶ月×2回×36か月×3年間)  
その3 まちのネットワーク図を創れ!  
真のパートナー・プレーン、産学連携図

きょうせい

# □「地域創生・SDGs」の重要ポイント

(1)重要性と緊急性による「順番」を再考せよ！

①地場産業、②起業、③企業誘致

①定住政策、②移住政策

①広聴、②傾聴、③対話、④広報し、⑤広聴

①農林水産業の事業承継者、②新規就職者

(2)過去の経験等で判断せず、これまでの「視点」を変えてみよ！（固定観念を捨てよ！）

(3)指標（ものさし）・ゴールを決めて、

『ストーリー性』（脚本）ある

「ひと育て」「まち育て」を実践せよ！

「できない」を  
「できる!」に変える

スーパー公務員・木村俊昭の  
人と地域を元気にする仕事術

木村俊昭



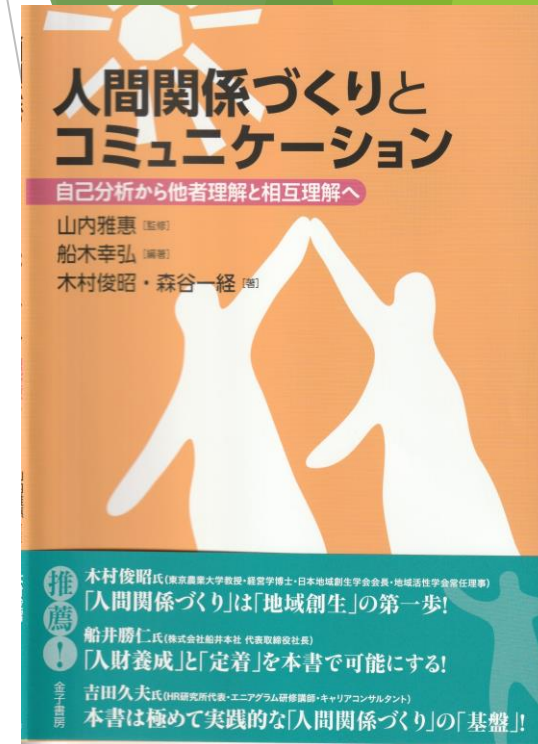
※いまからでも遅くない！  
人生の棚卸しをしてみましよう！

## □学習の5つのステップ

- (1)知り気づき (2)理解する (3)実践行動  
(4)時々できる (5)常にできる

## □体系的なアプローチ

- (1)「価値」を見出す (2)「目標」設定  
(3)「能力」を伸ばす (4)「発展」させる  
(5)「関係」づける (6)「再考」する



# ※リーダー・プロデューサー人財とは？

## □最高のリーダー・プロデューサー（増幅型）

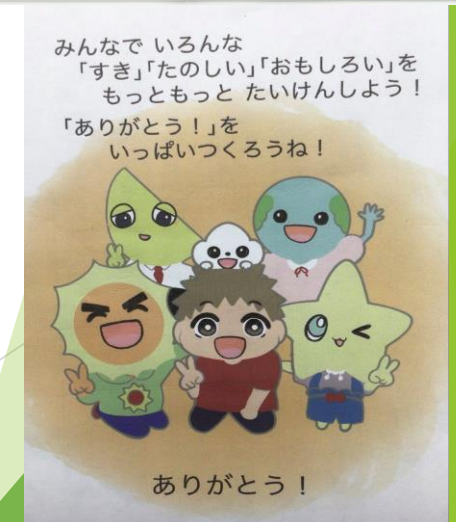
- (1) 失敗の対応 – 原因を共に探し、共有
- (2) 方向性 – 常に挑戦させる
- (3) 思考決定 – よく相談し、判断
- (4) 物事の実行 – 支える
- (5) ひとの話 – よく聴く

地域創生・SDGsの絵本  
「たくさんのありがとう」



## □最低なリーダー・プロデューサー（消耗型）

- (1) 失敗の対応 – 常に責める
- (2) 方向性 – 命令する
- (3) 思考決定 – 自ら決定
- (4) 物事の実行 – 支配する、上から目線
- (5) ひとの話 – 聴かない



# □プロセス重視の思考を学ぼう！

## (1)インバケット思考

問題点・課題発見→問題分析「五感六育®」→「仮説」→  
→情報収集(裏付け)→政策立案(2つ以上)→  
→調整(役割分担)→政策決定→実践行動へ  
(\* 実践行動→検証→政策微調整→実践行動)

## (2)バックキャスト思考

ゴールからみてビジョンを作成するもの

ザリガニの教材化・  
食用化・飼料化の  
調査研究





# 一度の人生、時間の生かし方・使い方

## ▶ 「五感六育®」の全体最適な

## ▶ 「立体的ストーリー政策」（物語・脚本）を創発

- ・ 弱みを強みに変えるためには、自分でチャンス（場）を創ること
- ・ チャンス（場）を創るため、全体最適な立体的ストーリー（物語・脚本）を描く
- ・ ストーリー（物語・脚本）を成功させるため、真のパートナー（協力者）が重要
- ・

すべての弱みを強みに変えようとしても、時間が足りない  
（常に「優先順位」を考える、「視点」を変えてみる）


## ▶ ※必然で、パートナー・ブレインを探すこと！

## ▶ 真心、恕（じょ）と志！ 笑顔、感動と感謝！

# まちの将来の思考法とは？

- ▶ **五感**分析（食べる、観る、体験、聴く、香り） \* 「五感六育®」分析
  - ▶ 希少性が高いものは何か？ 「ひと」「こと」「もの」
- ×

- ▶ **基幹産業**分析 \* RESAS 《地域経済分析システム》

- ▶ 製造業、卸小売業、建設業、サービス業、農業、林業、など
- ▶ 付加価値額によって順位をつける（上位10業種ランキング）
- ▶  わがまちで多くの人を雇い給料を払い、税金を納めているのは、どの業種か？

- ▶ 付加価値額ランキングを踏まえ、現場を確認し、自分のまちの
- ▶ 希少性の高いものと基幹産業をつなぐ → 現在すべきこと

- ▶ 「六育」環境（バランス）現在⇒未来図（F・D）を描く！

- ▶ 将来に向けて、順番、視点、改善、ストーリーを考え、全体が  
つながるよう、自走の未来図（産業、人財養成など）を描くこと！

- ▶ （知育 = 知性を養う、食育 = 5味体験、木育 = 自然の温もり、
- ▶ 遊育 = 考える力、健育 = 健康を保つ力、職育 = 共に働く）

環境省：地域循環共生圏



# ☆地域創生・SDGs実践事例

## (1)茨城県行方市(2015年なめがたファーマーズビレッジ)

焼きいも日本一のまちを小学校跡地に工場を設置。行政、JA、農家、企業の連携で所得増、人口構造に変化、若年層の流入。4方よしを実現。農家所得1.5倍。来場者年間25万人。

## (2)宮崎県日南市(IT企業の誘致)

人口流出の原因として、事務職の雇用希望があるも募集がないことが判明。よって、IT企業の誘致により事務職の雇用を拡大。市内視察者の増加、若年層の流出減少・人口構造の改善。

## (3)奈良県御所市(2019年、御所芋焼酎「みかけによらず」)

規格外の大和芋を使用し、芋焼酎を製造。遊休地の活用や農家の所得増、また、直売所の売れ残り野菜等を活用する飲食店等のオープンを目指す。今後は「こしごと(小仕事)」展開の予定。

※農業と水産業のコラボ、非対面・非接触型AIカメラ搭載自販機の活用、小中高大連携事業、地域循環共生圏(日本発の脱炭素化・SDGs構想)のモデル化ほか



# 非対面・非接触型事業構想と実践 趣旨・特徴 —地域ブランド化—

従来は大規模展示会等への参加によるB to Bの新規販路開拓が主流であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大やDX時代の到来を先取りし、リアル ⇄ オンラインの接点として、AIカメラ・デジタルサイネージを搭載した、非対面・非接触型販売・テストマーケティングを次世代型自動販売機を活用して市場からの評価を可視化。そこから得られる販売データを解析。その解析データは都道府県内の各市町村からの参加事業者還元することで、地域全体の地場産業（地場企業）の底上げを後押しするもの。



**特徴1** 地域の「ひと」「こと」「もの」のストーリーを、ワンストップで国内外同時に試験的に展開・検証・情報還元が可能

リアル ⇄ オンラインの接点として、小ロット&非接触の方法で大都市圏マーケットに長期間・継続的な試験販売&プロモーションが可能。実践による販売デジタルデータを利活用し、国内マーケットでのブランディング展開や需要予測の検証を実施。蓄積した試験展開/販売データ等を収集・解析し、バイヤーへの販路開拓商談時に需要予測エビデンスとして活用。継続的に情報を蓄積することで一層精度の高い情報となる。自販機に入らないものも類似データにより商談可能。海外展開（香港、その他地域への展開も準備中）の実績あり。

**特徴2** 非対面・非接触等の初の持続する地場産品販売モデル化による地場産業振興・未来産業創発、人財養成・定着と国内外への導入

新型コロナ禍における国内外での非接触等による初の持続する地場産品販売モデルを初年度から実践し、3か年でモデル化を目指す。同時に持続するための地域創生リーダー・プロデューサー人財養成と定着を図る。モデル化による都道府県内の地域への導入から国内外への導入を図り、ネットワーク化を目指す。

<3か年計画の概要>

- 1年目【守】：地域のひと・こと・ものを発掘・整理し、ストーリー（物語）化して横串を入れる実践（領域外の視点から見つめ直す）
- 2年目【破】：1年目の成果を生かし、自力で開拓または磨き上げに取り組む。その成功/改善要因を抽出・分析し最終年度につなぐ。
- 3年目【離】：[行政] 領域外の視点を踏まえつつ、地域全体の底上げにつながる政策立案が可能となる。  
[民間] 領域外の視点から、継続的にブラッシュアップまたは開発展開（国内外問わず）が可能となる。

<1年目（2021年）>

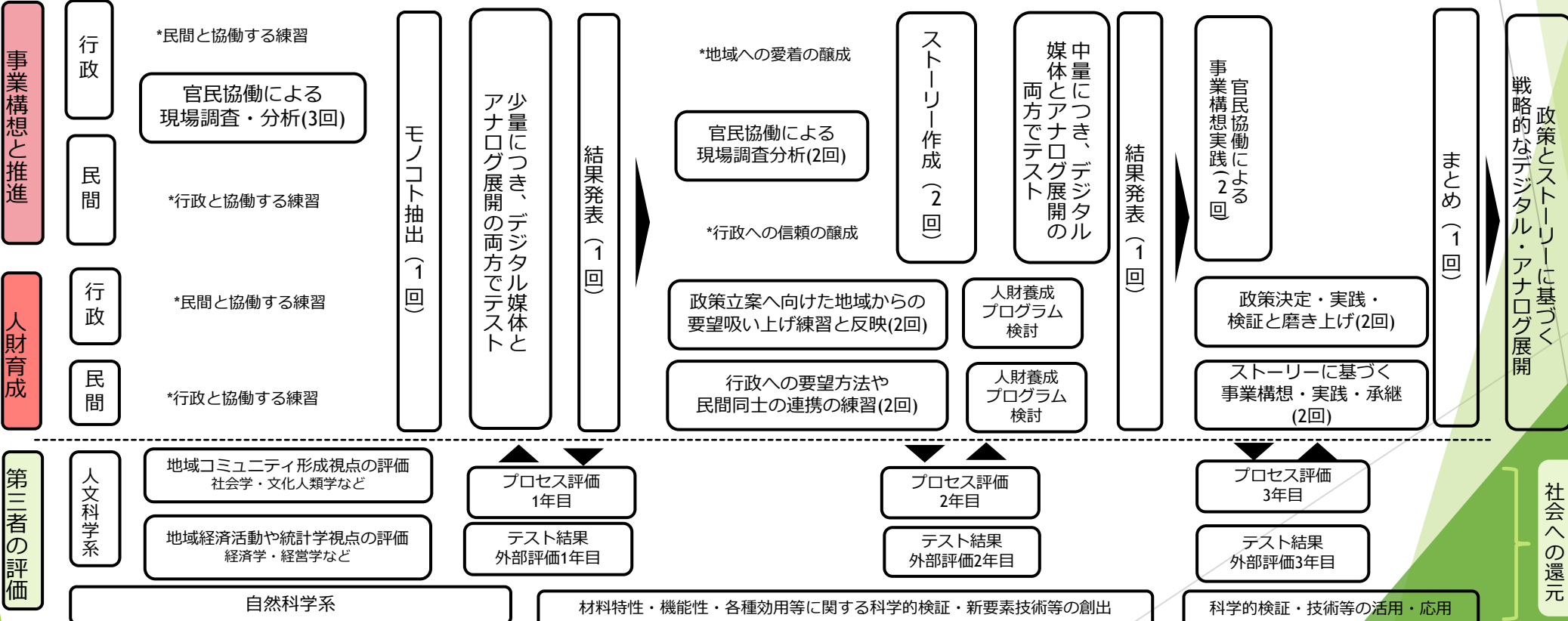
- 官民協働による現場の調査・分析（五感六育®）。
- ストーリー（物語）作成の練習
- 地域内住民に結果発表・公開

<2年目（2022年）>

- 現場の調査・分析の徹底。
- 結果に基づく政策立案（2以上）
- 自らストーリー（物語）を作成。
- 地域内住民に公開発表

<3年目（2023年）>

- 政策決定
- ストーリー実践・検証
- 事業構想と実践の推進
- 人財養成プログラムの実践



日本地域創生学会  
被災地・離島・過疎地域支援物産展

日時 2021年10月23日(土) 11時~13時  
ところ 兵庫大学11号館102 (古川市平岡町新家2301)

**出展一覧**

- 北海道から山口県まで、全28品  
関西圏ではお目にかかれないモノばかり!  
産地直送価格でご提供いたします。  
新型コロナ禍、お釣りのやりとりが難しいので、ぜひ小銭のご用意をお願いします。
- 北海道厚真町 氷室結城 ちまき号スケープ (厚真子)
- 山形県米沢市 米沢R&B Apple (りんご)、Beef (米沢牛ステーキ)、Carp (米沢加工品)
- 奈良県御所市 御所牛焼酎「おかげによらず」御所芋500g瓶、御所宮楽しじょう、御所やがらし
- 福井県南丹波町 ちひまれ (いちほまれ300gパック)
- 大阪府岸和田市 福生ミカン
- 山口県山口市・下関市・岩国市 小島物産のうらまめ、長州産兵衛粉/パン、天徳製の子うらまめ、中めいしん焼酎、おぼりのジュレ/ポン酢/味噌/かん、本酒蔵、ホクニセキャンデル、新島産焼酎「アール・ド・シズマ」、新島産焼酎/吟醸酒/吟醸酒/吟醸酒、おぼり、生絞りおからパウダー、お家のシロップ、お家のままアリス、ストライプ門ゆずき、黒門ゆずきやせりい、純黒糖、純時黒糖、じゅんじゅかりんとう、ブルーベリージャム、キウイジャム、黒ジャム

※スケジュール: 「発祥地の産物委員会」、「事務局」、「COCOAのイラスト」を表明いたします。  
主: 日本地域創生学会本部事務局 chiki@jstc.jp (メールでの対応)  
協: 兵庫大学、内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、農林庁、兵庫県山形県、北海道文教大学、東京農工大学、東京大学、実践総合大学、一般社団法人神戸ベンチャー研究所

<お申し込み・お問い合わせ>  
日本地域創生学会本部事務局 chiki@jstc.jp (メールでの対応)  
東京都世田谷区程丘1-1-1 東京農工大学世田谷キャンパス10号館2階2260号室

地域全体の底上げと持続性のある地域形成

研究成果等の社会への還元

# □ ま と め

☆ あなたは、どの分野の何をどこまで明らかにし、  
どこからを次世代へ引き継ぎ、進化させるのか？

\* 「五感六育」の全体最適な「立体的ストーリー政策」  
の創発！ 地域創生リーダー・プロテューサー人財を目指しましょう！

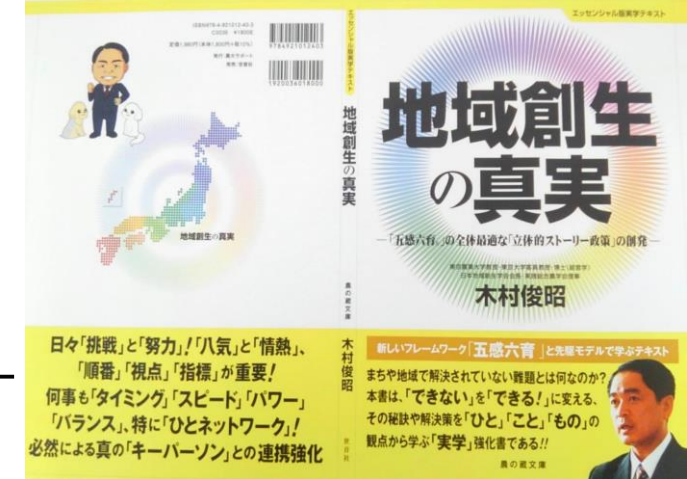
※ 既存のアイデアとアイデアのつなぎ合わせ  
(\* 深化と探索、\* 強い結びつきと弱い結びつき)

☆ 非対面・非接触型AIビジネスの創発、最新ロボットの活用、DXとは、ひとと  
AIの役割分担、地場資源を生かした地場産業振興や未来産業創発の実現

☆ 「第1次産業・第2次産業」が基本、「第3次産業」を応用とする産業構築

※ 「好き」「たのしい」「おもしろい」の実現

「急ぐな、焦るな慌てるな奢るな、近道するな、けっして諦めるな！」



□プロフィール 木村 俊昭（きむらとしあき）北海道生まれ。1984年小樽市、2006年内閣官房・内閣府、09年農林水産省等にて、地域創生、担い手養成、地域と大学との連携、6次産業化等を担当。現在、東京農業大学教授・博士(経営学)、東京大学大学院客員教授、内閣官房シティマネージャー、総務省地域力創造アドバイザー、日本地域創生学会会長、実践総合農学会理事等として、大学・大学院講義のほか、国内外で講演や現地アドバイスを実施中。NHK番組プロフェッショナル「仕事の流儀 木村俊昭の仕事」、新報道2001、BSフジプライムニュース、テレビ東京「たけしのニッポンのミカタ!」、TBS 黒柳徹子・爆笑問題「キズナ食堂」、ラジオ日本ほかに出演。単著「『できない』を『できる!』に変える」(実務教育出版)、「地域創生 成功の方程式」(ぎょうせい)、「地域創生 実践人財論」(ぎょうせい)、「決定版! 地域創生の本質－イノベーションの軌跡－」(ぱるす出版)ほか多数。月刊誌「毎日フォーラム」ほかに地域創生の現場を連載中。

2020年7月、幼児・小学校低学年用の地域創生絵本「たくさんのありがとう」(ぱるす出版)を出版。全国の創業100年以上の地場老舗中小企業の実態調査を終え、「地域創生の真実－「五感六育」の全体最適な「立体的ストーリー政策」の創発－」(農の蔵文庫)を出版し、同書籍をテキストにして、実践人財塾や「五感六育®」を展開中!

\*2021年10月に「地域創生絵本」、「地域創生・SDGsの本性」(五感六育文庫)コンパクト版を出版。2022年3月には、高校生・大学生・大学院生や社会人対象の(仮題)「人口減少社会の学歴再考－人生のストーリーデザイン思考－」を出版予定で準備中。